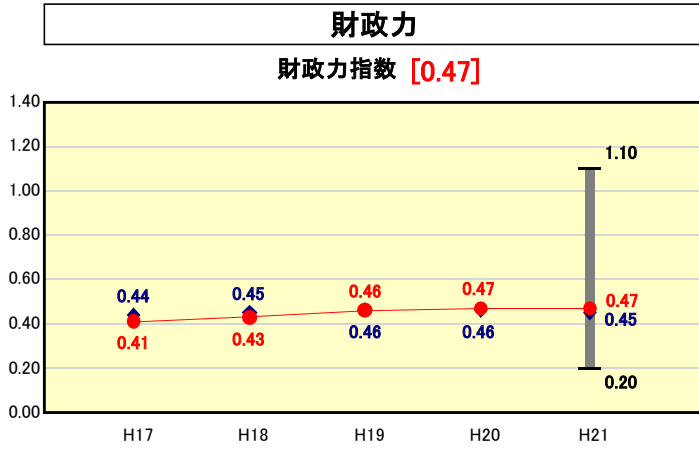


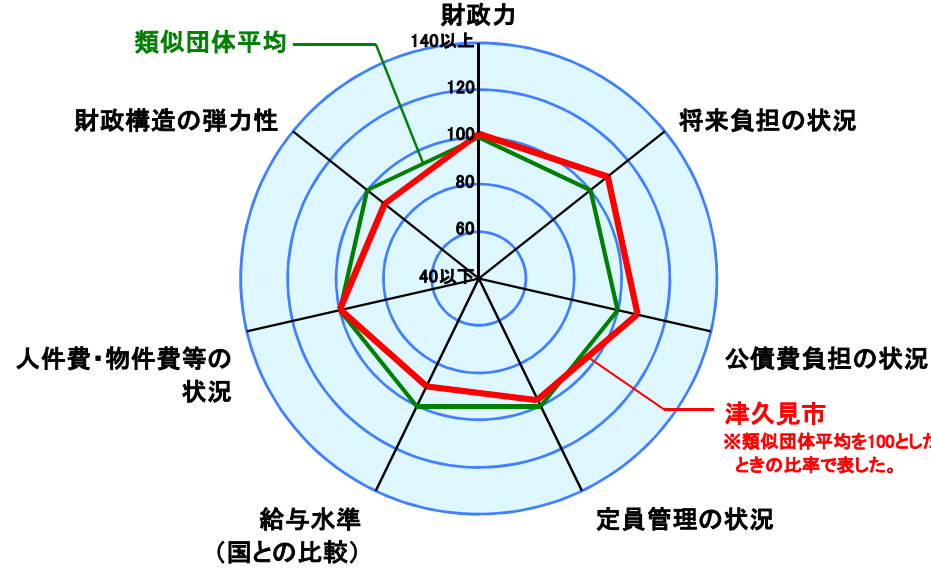
市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)



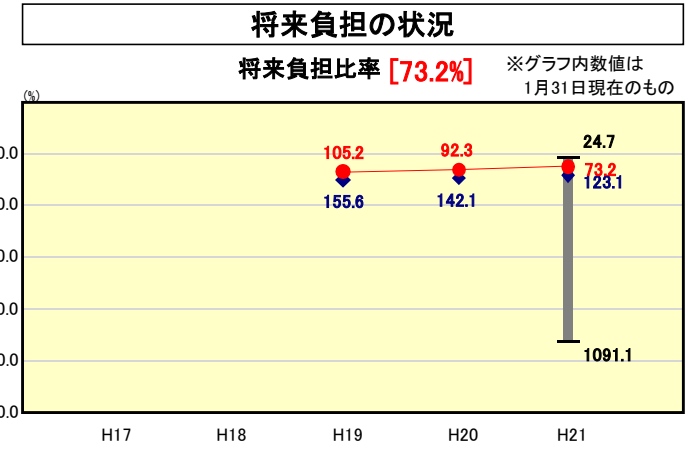
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の
最大値及び最小値

類似団体内順位
49/128
全国市町村平均
0.55
大分県市町村平均
0.43

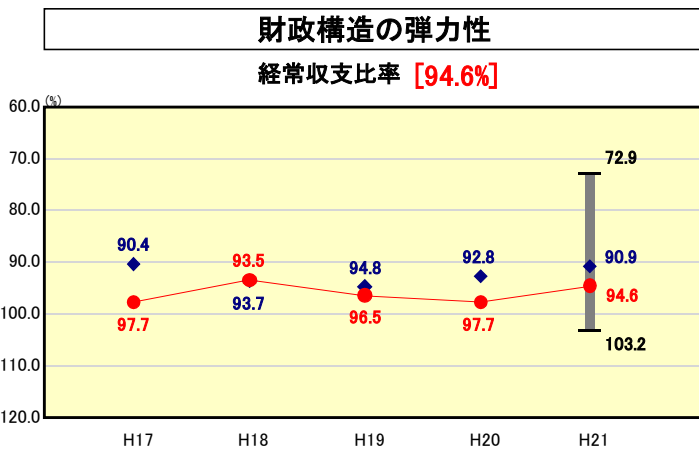
人口	20,958	人(H22.3.31現在)
面積	79.54	km ²
標準財政規模	5,696,627	千円
歳入総額	9,788,758	千円
歳出総額	9,439,888	千円
実質収支	313,965	千円



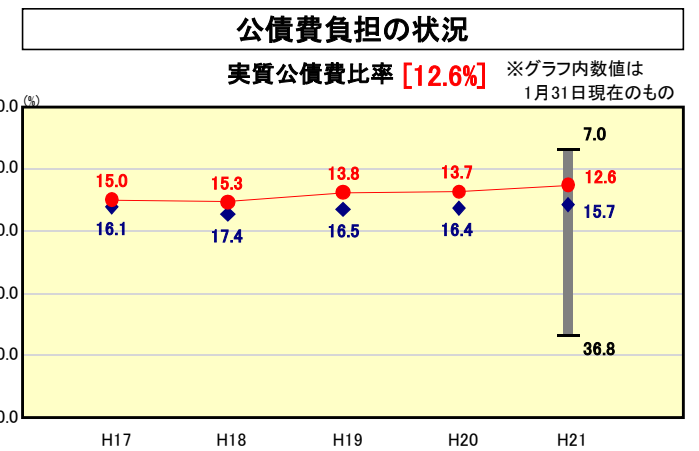
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



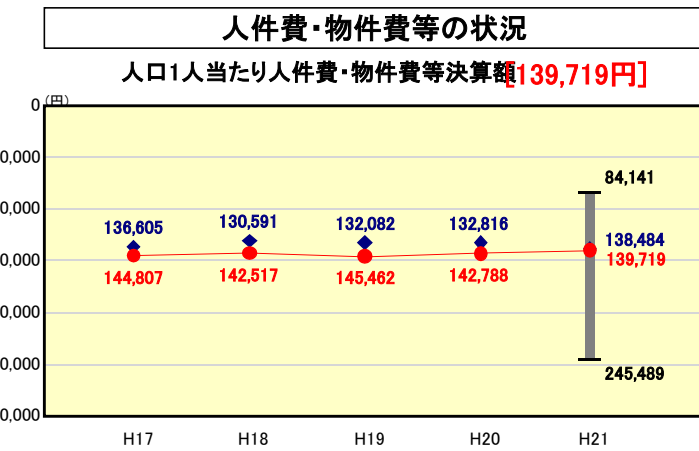
類似団体内順位
23/128
全国市町村平均
92.8
大分県市町村平均
75.1



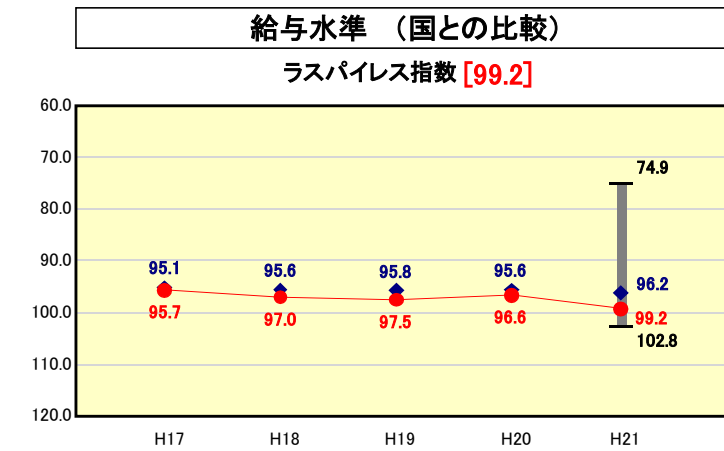
類似団体内順位
103/128
全国市町村平均
91.8
大分県市町村平均
92.2



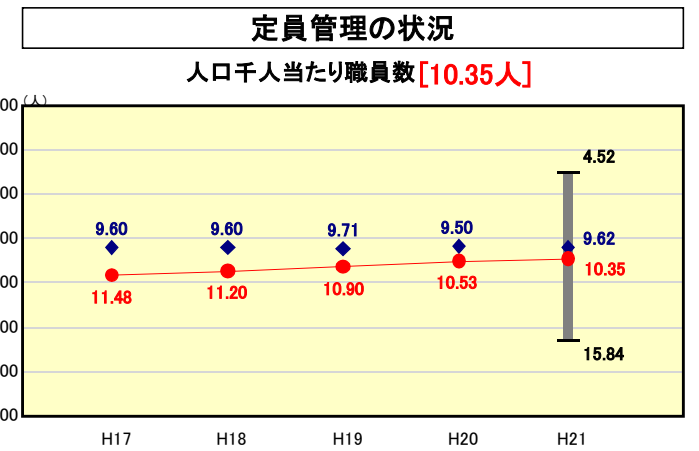
類似団体内順位
25/128
全国市町村平均
11.2
大分県市町村平均
11.3



類似団体内順位
73/128
全国市町村平均
115,856
大分県市町村平均
124,799



類似団体内順位
110/128
全国市平均
98.8
全国町村平均
95.1



類似団体内順位
82/128
全国市町村平均
7.33
大分県市町村平均
8.63

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】

前年度からの変動はないが、平成22年度においても景気の後退等により、市税の大幅な減収が見込まれるため、今後とも、徴収強化や市有地売却による歳入確保対策に取り組み、職員の定数管理・給与の適正化等により義務的経費を削減することで行政の効率化に努め、持続的な財政体質の健全化を図る。

【経常収支比率】

人件費の減と交付税の増により、前年度に比べ3.1ポイント改善している。今後も人件費・借入の抑制、収入の確保を図るとともに、事務事業等の見直し等、更なる行財政改革を推進し改善に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】

「第1次津久見市緊急行財政改革実行計画（平成16年度から平成20年度までの5年間）」を推進する中で職員数の21.7%（71人）の削減を達成した。今年度以降も「第2次津久見市緊急行財政改革実行計画」に基づき、計画的な削減に努める。

【ラスパイレス指数】

給与制度の適正化に努めているものの、前年度に比べ2.6ポイント悪化している。今後「第2次津久見市緊急行財政改革実行計画」に基づき、更なる適正化に努める。

【将来負担比率】

借入抑制や職員数削減等により前年度に比べ19.1ポイント改善しているが、今後も後世への負担を少しでも軽減するよう、新規事業実施等の際に総点検をはかり、財政の健全化を目指す。

【実質公債費比率】

前年度に比べ1.1ポイント改善している。今後も地域の自立や活性化につながる基盤整備等、緊急度や住民ニーズに応じた事業を選択するとともに、借入の抑制等により、市債に依存しない財政運営に努める。

【人口千人当たり職員数】

「第2次津久見市緊急行財政改革実行計画」に基づき、今後も計画的な削減に努める。